ぎふ清流国体とは

第 67 回国民体育大会開催基本構想（聖火台）

ぎふ清流国体（第 67 回国民体育大会）の成功を目指して、以下のような基本構想を策定しました。

第 67 回国民体育大会開催基本構想

第 67 回国民体育大会のビジョンを示す「第 67 回国民体育大会開催基本構想」を策定しました。（2006 年 4 月 27 日）

抜粋　国体の目的は、広く国民の間にスポーツを普及し、スポーツ精神を高揚して国民の健康 増進と体力の向上を図り、併せて地方スポーツの振興と地方文化の発展に寄与するとともに、国民生活を明るく豊かにしようとするものであるとされています。

第 67 回国民体育大会開催基本構想[PDF]

第 67 回国民体育大会開催基本構想(素案)に対するパブリックコメントのまとめ

策定にあたってはパブリックコメントを実施して、県民の皆さんからも多くのご意見をいただきました。ご協力ありがとうございました。 (2007 年 03 月 06 日）

国体の在り方、開催基本構想全般 意見の概要 国体の在り方については、競技者中心の参加から県民（国民）も参加できる国体あるいは、 県民（国民）参加中心の国体へと変化を求める声が多くありました。また、基本構想全般に対 しては、肯定的なご意見を多くいただきました。 意見への主な対応 県民の皆さんが「観る」「支える」だけでなく、スポーツを「する」ことができる機会を設けるこ とは既に記述済みです。競技者と県民の皆さんの両者が、スポーツ活動をできる国体を目指 していきたいと考えています。
以下、聖火台については以上の情報をまとめて基本構想を作成する。

第 67 回国民体育大会開催基本構想(素案)に対するパブリックコメントのまとめ[PDF]